



かぞ 市議会だより

発行日／令和7年12月1日

発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<https://www.city.kazo.lg.jp/>

●第67号●



市議会に関する情報は、ホームページをご覧ください。

◎本会議のインターネット中継を実施しています。

加須市 議会

検索



令和7年第3回 定例会を開催しました

主な議案等を紹介します。各議案の概要は市議会ホームページにて掲載しています。

可決

令和7年度一般会計
補正予算(第3号)

○普通財産活用推進事業
(3217万5千円)

■概要

旧北川辺学校給食センター解体等に必要な経費を措置するものです。

▼質疑

議員 解体等工事期間が約1年間かかる理由は。

総合政策部長 議会の議決後、順調に入札手続が進んだ場合は12月に契約をします。現地確認や施工計画等の準備が整った後、解体工事を行い、解体後、簡易的な囲いと砂利舗装を行うため、来年7月頃の完了を想定しています。

議員 跡地利用については。

総合政策部長 当該建物は、安全管理上の理由により早期に解体するものであり、解体後の活用についてはは確定していませんが、暫定的に学校や地域イベント時の臨時駐車場等として使えるよう、最低限の敷地整備を行う予定です。

議員 加須市市有財産管理運用委員会が検討する内容は。

総合政策部長 未利用財産の利活用基本方針に基づき、全ての未利用普通財産を行政利用、売却などの活用方針に分類し、優先度の判定をする等、市有財産の管理、処分及び使用調整について、調査及び審議を行うものです。



○個人版ふるさと納税促進事業

(2億6759万1千円)

■概要

個人版ふるさと納税の増加に伴い、返礼品等に係る経費を措置するものです。

▼質疑

議員 人気の返礼品は。

総合政策部長 令和7年8月末現在、返礼品数は554品目です。令和7年度の人気の返礼品は、金額の高い順に、24金6面ダブルキヘイネックレス50センチ、吉野家冷凍牛丼の具10食、吉野家冷凍牛丼の具20食、吉野家冷凍牛丼の具30食、完熟朝摘みあまりん250グラム2パックです。



○鳥獣対策推進事業

(14万6千円)

■概要

イノシシ対策に継続して取り組むために必要な経費を措置するものです。

▼質疑

議員 箱わなとカメラの設置場所については。

環境安全部長 現在、箱わな計6基、監視カメラ計6台を設置しています。箱わなはイノシシの目撃情報に基づき、加須猟友会と協議し、効果的に捕獲できるように、場所を選定しています。監視カメラは、原則箱わなの横に設置していますが、イノシシの目撃情報に基づき、出没箇所などにも設置し、行動を監視できるようにしています。

議員 イノシシ対策に係る経費増額の妥当性は。

環境安全部長 依然として多くの目撃情報があり、

令和7年第3回定例会は、9月2日から10月6日までの35日間の会期で開催しました。
 今期定例会では、令和6年度加須市一般会計決算をはじめとした市長提出議案等22件
 を審査し、13件を原案可決、2件を原案可決及び認定、7件を認定としました。
 このほか、提出された1件の請願を不採択としました。
 なお、審議結果につきましては、8ページをご覧ください。

捕獲頭数も増加傾向にあ
 ります。本補正予算では、
 捕獲する見込頭数につい
 て、本年7月までの捕獲
 頭数を平均化し、さらに
 繁殖期の増加分を見込
 み、改めて積算していま
 す。このため、増加分と
 しては妥当なものと考え
 ます。

捕獲頭数も増加傾向にあ
 ります。本補正予算では、
 捕獲する見込頭数につい
 て、本年7月までの捕獲
 頭数を平均化し、さらに
 繁殖期の増加分を見込
 み、改めて積算していま
 す。このため、増加分と
 しては妥当なものと考え
 ます。

捕獲頭数も増加傾向にあ
 ります。本補正予算では、
 捕獲する見込頭数につい
 て、本年7月までの捕獲
 頭数を平均化し、さらに
 繁殖期の増加分を見込
 み、改めて積算していま
 す。このため、増加分と
 しては妥当なものと考え
 ます。

概要

水田の畑地化に取り組
 む農業者を支援するため
 の経費です。

質疑

議員 交付対象農地の状
 況は。

経済部長

昨年度までは
 水稲とそばの作付をして
 いましたが、圃場に水が
 入りにくいことから畑地
 への転換を行い、今年度
 からはそばの作付を予定
 しています。対象面積は

可決

令和7年度後期高齢者
 医療特別会計補正予算
 (第1号)

後期高齢者医療一般管
 理事業

概要

子ども・子育て支援金
 制度施行に伴い、令和8
 年度から後期高齢者医療
 保険料に合わせて支援金
 を賦課・徴収する必要が
 生じるため、システム改
 修に必要な経費を措置す
 るものです。

質疑

議員 子ども・子育て支
 援金制度の施行により、
 後期高齢者医療被保険者
 は1人当たり平均金額

は1人当たり平均金額
 は200円の負担増額とあ
 り、年度ごとに段階的
 上がるとのことだが、そ
 の具体的な金額は。

健康スポーツ部長 こど

も家庭庁による資料等の
 試算によると、令和8年
 度は月額200円、令和
 9年度は月額250円、
 令和10年度は月額350
 円と段階的に増額する見
 込みです。

反対討論

子ども・子育て支援法改
 正による施策には、その
 実現が待たれていたもの
 が多数ある一方、そのた
 めの財源は、医療保険料
 に上乗せして徴収する制
 度の創設で確保するとさ
 れました。市民に新たな
 負担を強いる財源確保策
 を容認することはできま
 せん。高齢者の立場から、
 本案に反対するものです。

可決

加須市魅力ある学校
 づくり審議会条例

概要

加須市立小学校及び中

学校におけるこどもたち
 にとつてよりよい教育環
 境の実現に向けた魅力あ
 る学校づくりに関する事
 項について審議するため、
 加須市魅力ある学校づく
 り審議会を設置するもの
 です。

質疑

議員 審議会設置の目的
 と役割は。

生涯学習部長

審議会は、
 魅力ある学校づくりにつ
 いて、市民の声を代表し
 てご審議いただくこと、
 さらに審議のプロセスを
 見える化するにより、
 合意形成を図るための一
 つの手段として設置する
 ものです。その役割は、
 教育委員会の諮問に応じ
 て魅力ある学校づくりに
 係る基本計画の策定に関
 して審議を重ね、その結
 果を答申いただくことで
 す。



質疑とは？

議案などについて疑義をただすための発言のことです。
質疑は議案などの不明確な点を明らかにするために
行うもののため、自己の意見を述べることはできません。

議員 審議会委員として
選任する者は、どのよう
な方を想定しているか。

生涯学習部長 公募によ
る市民の方等を含む知識
と経験を有する方や、特
定の専門分野における知
識と豊かな社会経験を持
つ方、学校との関わりが
深く地域を支える各種団
体の代表者、保護者、小・
中学校の校長など、多様
な立場の方々による20人
以内の委員構成を想定し
ています。

議員 こどもや保護者、
地域住民の声をどのよう
に基本計画に反映してい
くのか。

生涯学習部長 児童・生
徒を対象とするアンケー
ト調査や、保護者や地域
住民の方を対象とする意
見交換会、計画案に対す
るパブリックコメントの
実施等、合意形成を図る
上で必要なプロセスを丁

寧に踏んでまいります。
いただいたご意見、ご要
望等については、教育委
員会や審議会において、
十分に協議をさせていた
できます。

可決
加須市放課後児童健全
育成室条例の一部を改
正する条例

概要

以下の内容を改正する
ものです。

① 礼羽小学校放課後児童
健全育成室の位置を変更
する。

② 北川辺東放課後児童健
全育成室（きらきら第2）
及び大越小学校放課後児
童健全育成室を本条例に
位置付ける。

③ 各施設について、区画
の面積に関する基準に
応じた定員に見直す。

質疑

議員 定員見直しにより

定員数が増加したが、受
入体制の対応は。

こども局長 現状で利用
希望児童は全て受け入れ
ており、今回の見直しに
よって利用児童が大幅に
増加することは想定して
いません。

不採択
加須市議会基本条例に基
づく議会活動について、
議会内部だけでなく市民
からも評価を受ける機会
を設け、より正しい評価
の下、継続的な議会改革
の取り組みを求める請願

反対討論

議会改革検討委員会を
設置し、市民との意見交
換会等、紹介議員も含め
協議・決定し、議会改革
に取り組んでいます。請
願者に市議会の正確な情
報をお伝えいただくこと
を強く願い、本案に反対
するものです。

賛成討論

市民の声を反映して策
定した議会基本条例はそ
の後、その運用に係る市
民への調査が行われず、
市議会のみで曖昧な自己
評価をしていることから
本案に賛成するものです。

認定

令和6年度一般会計歳
入歳出決算の認定につ
いて

多文化共生推進事業

質疑

議員 多文化共生社会を
推進するための取組は。

総務部長 広報紙やごみ
カレンダーをはじめとす
る延べ90種類の配布物を
多言語で表記し作成する
等の言葉の支援や、新た
に作成した外国人生活情
報セットの周知等による
暮らしの支援、地域活動
団体への支援や国際交流



討論とは？

議案などについて採決前に賛成か反対か、自己の意見を表明することです。議案について反対なら「反対討論」、賛成なら「賛成討論」となります。

の実施など、様々な事業に取り組んでいます。

議員 日本語指導等の教育支援や人権教育の取組は。

学校教育部長 教育支援として、日本語指導を必要とする生徒に対し、日本語指導教諭が拠点校を中心に各学校へ赴き、特別な教育課程を編成して指導を行った他、加須市立教育センターにおいても日本語習得支援や日本の学校生活への適応指導等を行いました。人権教育については、道徳の内容項目の一つとして、他国文化への理解や国際親善について授業を展開しています。

○がん検診事業

▼質疑

議員 胃内視鏡検査は見込みを超える受診者数となったが、令和6年度の評価は。

健康スポーツ部長 令和6年度から、がん検診事業の拡充として検査に係る自己負担額70000円の引き下げを行ったところ、当初見込の約2倍の受診者数となりました。

また、既往歴等によりバリウム検査が適さない方のバリウム検査受診数が令和5年度と比べ300人減少し、偶発症リスクの予防も図られたものと評価しています。

議員 けんしんパスポートのリニューアルによる効果と評価は。

健康スポーツ部長 令和5年度と6年度の受診率を比べると、全てのがん検診の受診率が向上しました。検診内容をわかりやすく伝えることをポイントに見直しを図ったことにより、受診の必要性や周知が図られたものと評価しています。

反対討論

一般会計総額の4分の1にあたる約123億円にも膨れ上がった基金や、継続の必要がない同和事業に投入した税金等の財源は、物価高騰で市民生活の苦しい今こそ市民の暮らしや福祉の支援に回し、有効に活用すべきであるため、本案に反対するものです。

賛成討論

令和6年度末において不用額を算出し、翌年度当初予算にて事業費に計上した結果、大部分を単独予算で絆サポート券全世界帯配布事業を実施したこと、自己負担を減額したがん検診事業により受診者数が大幅に増えたこと等を評価し、本案に賛成するものです。

可決及び認定

令和6年度下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

反対討論

下水道使用料及び農業集落排水使用料あわせて約6449万円の消費税が課税されています。市民の生活、中小企業や自営業者の経営を守るためにも減税を進めるべきであることから、本案に反対するものです。

賛成討論

下水道事業では、川口地区の整備を進めるなど、市民生活の快適な生活環境確保に努めたこと、また、農業集落排水事業では、第二次加須市農業集落排水施設最適整備構想を策定し持続可能となるよう努めたことから、本案に賛成するものです。

常任委員会等の審議内容

常任委員会等は、9月19日、付託された特別会計決算等の11案件について審査を行いました。また、予算決算常任委員会は、9月24日、25日、26日及び10月1日の4日間で一般会計決算認定について慎重に審査を行いました。委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

1 議案 可決

委員長 中島 正和
副委員長 池田 年美
委員 金子 正則
山下 雄希
野中 芳子
宮代 翔太
宮崎 智司
竹内 政雄
佐伯 由恵

〔一般会計補正予算(第3号)〕

○個人版ふるさと納税促進事業

問 本市へのふるさと納税が増加しているが、加須市らしさのある特産品は何か。

答 いちこのあまりんが返礼品の第5位となっています。

○中国残留邦人等支援事業

問 通院のみの医療費の増額を見込んでいるのか。

答 過去3年分の入院と通院を含む医療費の平均額を推計し、計上しています。



議会運営委員会

1 請願 不採択

委員長 原田 悟
副委員長 金子 正則
委員 新井 好一
中島 正和
佐伯 由恵
大内 清心
宮崎 智司

〔加須市議会基本条例に基づく議会活動について、議会内部だけでなく市民からも評価を受ける機会を設け、より正しい評価の下、継続的な議会改革の取り組みを求める請願〕

問 今回の請願も、請願者は紹介議員の配偶者であるが、請願に賛成する市民は配偶者一人なのか。

答 (紹介議員) 具体的な数値は答えられないが、感覚的には周りの人は反対する人がいませんでした。

民生教育常任委員会

6 議案 認定等

委員長 大内 清心
副委員長 栗原 智之
委員 新井 好一
関口 孝夫
山本 仁美
原田 悟
松本 幸子
齋藤 理史

〔加須市魅力ある学校づくり審議会条例〕

問 審議会委員はどのように選ばれるのか。

答 具体的な方法等は検討中だが、選定方法としては公募や団体推薦等を想定しています。

〔国民健康保険事業決算認定〕

問 歳出の保健事業費が増えた要因は。

答 脳ドックと人間ドックを同時受診することができるよう併診ドックの利用件数が増えたことなどによるものです。

〔国民健康保険直営診療所決算認定〕

問 医師の退職により診療所が令和6年度末で休診となったが、医師の退職希望へどのように対応したのか。

答 昨年の10月に医師より退職する旨の相談があり、市長をはじめ慰留に努めたが、本人の意志は固く退職となりました。

〔後期高齢者医療決算認定〕

問 保険料の均等割軽減の状況は。

答 2割軽減が2419人、5割軽減が2647人、7割軽減が7825人でした。

〔介護保険事業決算認定〕

問 歳入が1・53%増えているが、その一番の要因は。

答 65歳以上の高齢者の人口が増えたことによるものと考えます。

産業建設常任委員会

3 議案 認定等

委員長	赤坂 和洋
副委員長	森本 寿子
委員	小坂 裕 高橋 一夫 内田 昇 田中 良夫 及川 和子 中條 恵子

〔加須都市計画事業野中土地区画整理事業決算認定〕

問 収入済額が予算額を下回った理由は。

答 国からの補助金が必要額を下回ったこと、また、保留地の処分ができなかったことが要因です。

〔水道事業会計利益の処分及び決算認定〕

問 決算年度は、前年度と比べ配水量及び総有水量・有収率が減となっているが要因は。

答 配水量の減は、人口減少や節水型機器の普及が要因であり、総有収水量・有収率の減は、漏水が要因だと認識しています。

問 PFASの検査を実施しているか。

答 決算年度は検査の必

須項目ではなかったが、市独自の判断で検査を実施しました。

〔下水道事業会計利益の処分及び決算認定〕

問 川口地区の整備の進捗は。

答 下水道管渠の本工事は約50・8ヘクタールのうち約42ヘクタールまで整備が進んでおり、令和7年度で完了する予定です。

問 決算書には「40年以上経過した管渠が多くある」と記載されているが、当該管渠は全体の何%くらいあるのか。

答 国の示す耐用年数50年を超える管渠は約1%であり、40年以上50年未満の管渠は約11%です。

予算決算常任委員会

1 議案 認定

委員長	山下 雄希
副委員長	原田 悟
委員	議長及び監査委員を除く全議員 ※分科会委員については、部門別常任委員会委員が兼ねる。

〔一般会計決算認定〕

■総務分科会

問 行政デジタル化推進事業に関し、AI導入による業務改善の取組は。

答 生成AIを令和6年4月から全庁的に利用開始し、業務の効率化により短縮できた時間は、主要な業務に集中していきます。



問 市税歳入に関し、市民税と固定資産税の増減要因は。

答 定額減税の影響により市民税が減少し、新築家屋の増加と物価上昇による建築費の高騰に伴う既存家屋の評価額の据え置きにより、固定資産税が増加しました。

■民生教育分科会

問 骨粗しょう症予防事業に関し、予防のための取組は。

答 これまで検診対象を20歳以上の市民としていたが、健康増進法に基づき、40〜70歳の節目年齢である女性へ変更し、特に骨粗しょう症のリスクが高い女性への予防につなげていきます。

問 こいのぼりマラソン大会開催事業に関し、令和6年度からハーフの部が廃止となったが、全体の参加者が増加している要因は。

答 楽しみながら走ることを目的とするファンランや、ごみ拾いをしながら走るプログラミングなど、種目を工夫したことにより、増加したものと考えます。

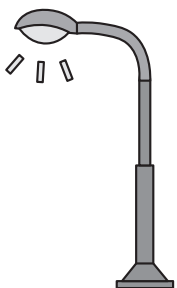
■産業建設分科会

問 危機管理監の職務に関し、令和6年度から危機管理監が配置されたが、どのような活動をされたのか。

答 決算年度は幸いにも危機事案がなくその対応はなかったが、平時においては、地域防災計画の見直しや水防事務組合における事業の企画など、市の防災関連事務に携わりました。

問 公園維持管理事業に関し、令和4年度から令和8年度で公園等の水銀ランプ照明灯の交換が計画されているが、その進捗は。

答 決算年度末で、460灯中277灯が交換済となっています。



令和7年第3回定例会 議案等の審議結果

●全議員(議長を除く)が賛成した議案

	議案番号	議案名
市長提出議案	66	令和7年度加須市一般会計補正予算(第3号)
	67	令和7年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	69	令和7年度加須市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	70	加須市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
	71	加須市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
	72	加須市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び加須市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
	74	加須市放課後児童健全育成室条例の一部を改正する条例
	75	加須市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例
	76	加須市環境保全条例の一部を改正する条例
	77	市道路線の廃止について
	80	令和6年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
	84	令和6年度河野博士育英事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	85	令和6年度加須市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
議員提出	5	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

●賛否が分かれた議案等

※会派別・議席番号順 ○…賛成 ●…反対

	議案等番号	議案等名	審議結果	令和会										新政会						公明党				日本共産党			りっけん	はじめの一步
				山本 仁美	内田 昇	原田 悟	中島 正和	赤坂 和洋	関口 孝夫	竹内 政雄	新井 好一	小坂 裕	栗原 智之	高橋 一夫	宮崎 智司	山下 雄希	金子 正則	齋藤 理史	田中 良夫	森本 寿子	池田 年美	大内 清心	中條 恵子	松本 幸子	佐伯 由恵	及川 和子		
市長提出議案	68	令和7年度加須市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可原決案	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	
	73	加須市魅力ある学校づくり審議会条例	可原決案	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	●	●	○	○	
	78	令和6年度加須市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	
	79	令和6年度加須市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	
	81	令和6年度加須市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	
	82	令和6年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	
	83	令和6年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	
	86	令和6年度加須市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	及原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	
請願	5	加須市議会基本条例に基づく議会活動について、議会内部だけでなく市民からも評価を受ける機会を設け、より正しい評価の下、継続的な議会改革の取り組みを求める請願	不採択	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		

・審議結果の会派名は、一部略称で掲載しています。

「刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書」を国に提出

国に対する意見書として、議員提出議案が提出され、賛成総員で可決しました。
可決した意見書については、令和7年10月10日付けで、国の関係機関に提出しました。
当該意見書の詳細については、以下のとおりです。

再審制度は、三審制の下で確定した有罪判決について、一定の重大な瑕疵があった場合にこれを是正し、有罪判決を受けた者を救済する非常救済手続である。

えん罪は有罪とされた者や家族の人生を大きく狂わせ、時にはその生命をも奪いかねない国による最大の人権侵害である。えん罪の発生を防ぐことはもちろん、不幸にしてえん罪が発生した場合に、速やかに救済することは国の基本的責務であり、再審制度は重要な意義を持っている。

通常審については、戦後間もなく刑事訴訟法が改正され、刑事手続における基本的人権の保障と公正な裁判を実現するべく詳細な規定が置かれたほか、近年でも、証拠開示制度の整備、国選弁護制度の拡充、取調べの録音・録画等刑事手続の改善が進められている。

しかし、再審手続について定める刑事訴訟法第4編は、今なお戦前の規定がほぼ踏襲され、審理手続を具体的に定めた規定はないに等しい状態にある。現行法に基づく過去の再審事件では、袴田巖さんの再審の例を見るまでもなく、証拠開示が不十分で著しく遅かったこと、検察官抗告によって手続が長期化したなどの課題が挙げられる。

えん罪は減らすことはできても絶対に無くなることはない。慎重な裁判を行うことでその誤りを防ぐ三審制が採用されているにも関わらず、幾つもの再審無罪判決が出されてきたことを考えれば、再審に係る確固たる手続を整備する必要性は明らかである。

よって、国においては、これらの課題を踏まえ必要な検討を進めた上で、刑事訴訟法の再審規定を改正することを強く求める。

埼玉県加須市議会

埼玉県議会に関する情報番組

「主要会派代表者討論会」(テレビ埼玉)

令和7年12月25日 午後7時～8時

テーマ：「今後どうなる？埼玉県の行財政運営

～国の税財源確保策が及ぼす地方自治体への影響について～」

県議会の主要5会派の代表者がこちらのテーマについて討論します。

詳しい放送スケジュールは、埼玉県議会ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/koho/tv-touronkai.html>



ここが聞きたい！ 市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今期定例会では、19人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なもの（マーカーの質問）の要旨を質問者順に11～15ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

竹内 政雄 議員（令和会）

- 令和7年度全国学力・学習調査状況と学力向上の取組について
- 小・中学生の不登校について
- 外国人と外国籍の児童・生徒について

大内 清心 議員（公明党）

- 防災・防犯対策について
- 子育て支援の更なる充実について
- 性の多様性に理解を
- 加須未来館リニューアルプロジェクトについて

森本 寿子 議員（公明党）

- 自治協力団体への支援について
- デジタルデバйд解消に向けた取り組みについて
- 若い世代の生涯にわたる健康のために
- ごみ対策について
- 終戦80年を迎え、平和への誓いを新たに

山本 仁美 議員（令和会）

- 部活動の現状・取り組みと今後の展望について
- 小学校のクラブ活動について
- ふるさと納税の現状と市としての生かし方について
- 市民のお困りごとの把握と組織として解消策について

内田 昇 議員（令和会）

- 病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想、かぞ版スーパーシティの実現に向けて

赤坂 和洋 議員（令和会）

- 民生委員の選出について
- 消防団災害出動エリアについて

原田 悟 議員（令和会）

- 「街角の保健室」から「終活情報登録支援事業」へ繋げることにについて
- 加須市立図書館の更なる利用促進について
- 防災対策の強化について

池田 年美 議員（公明党）

- 地球温暖化対策について
- 図書館の利用について
- 騎西総合公園の池のポンプの故障について
- 投票率の向上について
- 生きづらさを抱える「境界知能」の人への支援について

金子 正則 議員（新政会）

- 全国学力・学習状況調査について
- 市民からの相談について
- 防災無線について

栗原 智之 議員（新政会）

- 在宅医療介護連携推進事業の取組について

高橋 一夫 議員（新政会）

- 子育て支援サービス、子育て短期預かり事業について
- 鴻荃・芋荃の開発の進捗状況と北大桑の開発について
- 都市計画法34条12号（産業系）の指定基準と総合振興計画、都市計画マスタープランについて

宮崎 智司 議員（新政会）

- 中心市街地の現状と活性化対策について

新井 好一 議員（令和会）

- 埼玉一の米どころを守るため
- 地産・地消の教訓に学ぶ
- 渡良瀬遊水地の有効活用へ

野中 芳子 議員（りっけん）

- 二酸化炭素削減への取り組みについて
- 高齢者対象の事業について
- 旧加須市医療診断センターについて

中條 恵子 議員（公明党）

- 高齢者支援対策について
- 窓口サービスの充実について

宮代 翔太 議員（はじめの一步）

- 待機児童数の調査について
- 公立保育士の勤務実態について
- 養育費の不払い問題について

及川 和子 議員（日本共産党）

- 子どもも親も安心できる不登校支援について
- 国民健康保険について
- 下水道管路内作業の安全確保について
- 北川辺診療所の再開について

松本 幸子 議員（日本共産党）

- 記録的な猛暑から市民の命を守ることに
- 聴こえを保障し、高齢者の健康と豊かな人生を保障する
- 加須駅を核としたまちづくりについて
- 地域公園の整備について

佐伯 由恵 議員（日本共産党）

- 「埼玉一の米どころ」の再生に向けて
- マイナ保険証の問題について
- 小・中学校施設のエアコン設置について
- エンディングプラン・サポートについて



一般質問
二次元コード



英語力の向上と
勉学以外の貴重な経験を

たけうち まさお
竹内 政雄 議員

竹内 英語教育の現状について伺います。

学校教育部長 令和6年度本市の中学3年生の英検3級取得者及び同程度の能力を有する生徒の割合は国・県を下回り、また、県学力学習状況調査の平均正答率も県を下回る状況であることから、英語力向上は特に重要な課題であると認識しています。

竹内 児童生徒の学力に対する認識と見解について伺います。

教育長 未来を逞しく生き抜くために必要な学力とは、自ら課題を見つけ、学び、解決する力であり、多様な学びの蓄積によって育まれるものです。引き続き授業改善を中心とした教員の資質能力の向上に取り組み、確かな学力を醸成してまいります。



一般質問
二次元コード



ペットと暮らす家庭が
迷いなく同行避難できる
ように

おおうち きよみ
大内 清心 議員

大内 災害発生時に避難した飼い主同士が協力し合い、速やかにペット避難スペースを設営・運営できるようにスタターキットを各避難所に整備していただきたいと思うが、考えを伺います。

環境安全部長 ペット避難に伴うペット用品の備蓄については加須狂犬病予防対策協議会獣医師の皆様にご意見を伺っています。スペースの課題やキット整備も含め検討いたします。

大内 災害に備えるためのノウハウやペットの種類・特徴等の情報が記入できる「ペット防災手帳」の作成についての考えは。

環境安全部長 現在市で配付している愛犬手帳をもとに災害時にも活用できる手帳として内容等の見直しを検討いたします。



一般質問
二次元コード



終戦80年、
大きな節目を迎え
平和への誓いを新たに

もりもと としこ
森本 寿子 議員

森本 被爆・戦争体験を継承する時間に限りがある中、今を生きる私たちが後世に広く伝える継承活動について伺います。

総務部長 加須市民平和祭を毎年開催し、今年度、新たにVR映像での原爆被害疑似体験を実施した他、平和を考える写真展の開催や被爆樹木二世の苗木の植樹等に取り組んでいます。

森本 原爆の日及び終戦記念日に合わせ、黙とうと市長のメッセージを防災行政無線で流すことについての考えを伺います。

市長 市では当日、庁舎等館内放送で黙とうを呼びかけています。防災無線の利用は考えていませんが、今後も世界の恒久平和実現に向けた取組を市民の皆様とともに推進してまいります。



一般質問
二次元コード



お困り事を速やかに
解決し、加須市を
「住みやすいまち」へ

やまもと ひとみ
山本 仁美 議員

山本 市長への手紙・メールを受けた後の対応について伺います。

副市長 市政に関する内容の市長への手紙・メールについては、担当課が現状を確認し、対応策等を検討した上で回答案を作成します。回答は、全て市長決裁を経て、原則二週間以内に返信しています。

山本 市民から寄せられるお困り事や意見等に一体的に対応するための組織について伺います。

総務部長 市民の一般的なお困り事等の相談業務は人権・男女共同参画課が所管しています。令和6年度は計276件の相談があり、その場で助言・回答できる事案には対応し、担当課の回答となる事案は、所管を確認した上でご案内し、引き継ぎます。



一般質問
二次元コード



病院を核とした
加須駅周辺の新たな
まちづくり構想について

うちだ
内田 昇 議員

内田 「病院を核とした」とは物理的な意味だけでなく、市民の健康管理をサポートするシステムを構築し、市民がメリットを実感できることを考えるが、考えを伺います。

市長 当該構想の医療と福祉ゾーンに、済生会加須病院の機能を補完し、連携できる医療福祉施設を呼び込めるよう検討を進めています。また、関係者と連携し、ソフト面も整備を図りたいと考えています。

内田 加須駅ビルを早期に解体して、オーバークブリッジによる南北道路建設を提案するがどうか。
市長 非常に難易度が高く、周辺への影響等、様々な課題が想定されますが、今後、関係機関等と協議したいと思います。



一般質問
二次元コード



民生委員の選任に向けた
積極的な声掛けを

あかさか
赤坂 和洋 議員

赤坂 民生委員選任について、自治協力団体や社会福祉協議会に推薦協力を依頼しているが、法的根拠について伺います。

福祉部長 厚生労働省通知「民生委員・児童委員の選任について」の第3「選任に関する留意事項」第3項の規定を踏まえ、候補者の推薦依頼をしています。

赤坂 過去の一般質問にて、本市職員OBの積極的な参加が必要と申し上げたが、その後の対応について伺います。

福祉部長 前回の一斉改選後の令和5年6月に関係者の皆様へ委員定数見直しの相談をして以降、民生委員候補者の推薦にあたっては機会あるごとに地域の市職員OBにもお声がけいただくとよう説明してきたところです。



一般質問
二次元コード



「街角の保健室」と
「終活情報登録支援事業」
の連携

はらだ
原田 悟 議員

原田 健康寿命をいかに延ばすかが課題となる中で「街角の保健室」は本市に必要な事業だと思いが、市の考えを伺います。

健康スポーツ部長 「街角の保健室」は設置していませんが、同様の取組として市民が多く集まる場所に医療専門職が出向く出前健康相談・講座を実施しています。

原田 「終活情報登録支援制度」について、携帯電話の解除方法等を含めた登録内容の追加や対象者の条件緩和が必要と思うが、考えを伺います。

市長 高齢化が進む中、人生の最終段階において本人の意思に基づき、尊厳を守りながら死後手続を円滑に進める新たな取組です。実用的・効果的に対応できるように改善を重ねてまいります。



一般質問
二次元コード



境界知能が理解され、
必要な支援が受けられる
ように

いけだ
池田 年美 議員

池田 境界知能とは知的障害の診断基準には該当しないものの、平均的な知能より低いグレーゾーンとも呼ばれる状態を指します。問題は、様々な場面において支援の必要があるにも関わらず、気づかれにくいところにあります。境界知能の方への支援について、考えを伺います。

市長 境界知能の方への支援は住民に身近な地方自治体において重要な課題です。対象がどのような場合には、健診時や学校現場で、こどもの困り感をいち早く感じ取る対応が必要です。そのためにも、境界知能の周知に努め、そして境界知能の方も利用できる様々な福祉サービスの周知や対応に努めていくことが必要と考えています。



一般質問
二次元コード



こどもたちがスマホを
正しく利用するための
指導を

かねこ まさのり
金子 正則 議員

金子 新聞報道によると、急激なデジタル環境の変化は、読み聞かせ能力や読解力の低下をもたらすという指摘があります。学力低下には複合的要因があると思われませんが、スマートフォンやゲームが児童・生徒の学力に与える影響について、認識と見解を伺います。

教育長 スマートフォンの使用時間と学力低下には相関関係があります。また、本市の児童・生徒のSNSや動画視聴時間は、全国や県平均と比べ長い傾向にあります。現代のこどもたちにとって欠かせないツールだからこそ、正しく付き合う力を育てることが重要であり、今後も家庭と連携しながら、確かな学力の育成に努めてまいります。



一般質問
二次元コード



地域医療を維持し、
安心して暮らせるまちに

あいはら ともゆき
栗原 智之 議員

栗原 介護従事者人材確保のための支援策について伺います。

福祉部長 介護に関する人間的研修の開催や資格試験受験料を補助している他、今年度に実施予定の高齢者生活実態調査において介護サービス事業所における課題等を把握してまいります。

栗原 在宅医療・介護の需要増加に対する体制づくり等、地域医療課題解決に向けた考えは。

市長 サービスや人材の確保は喫緊の課題です。加須駅周辺の新たなまちづくり構想では、済生会加須病院を補完し連携を図る医療機関等を誘致する「医療と福祉ゾーン」を設けています。准看護学校移転に関する協議を始めたことも対応策の一環と考えています。



一般質問
二次元コード



都市計画法第34条12号
(産業系)の指定基準に
ついて

たかはし かずお
高橋 一夫 議員

高橋 産業系12号区域の指定について、市では道路や治水等に関する指定基準を設けています。その中で令和5年10月から新たに区域を指定する建築敷地面積について、緩衝帯の設置が義務付けられる1ヘクタール以上としましたが、なぜ面積による規制をかけたのか、市の考えがよく分かりません。市の指定基準に合致する場所が本市のどこにあるのか伺います。

都市整備部長 産業系12号区域の指定は、本市に進出を希望する事業者からの事前相談があった初めて調査を開始するため、事前に把握はしていません。指定基準について確認し、審議会での諮問・答申を踏まえ区域指定の是非を判断しています。



一般質問
二次元コード



地域商店街と一体となり
中心市街地活性化へ

みやざき ともじ
宮崎 智司 議員

宮崎 駅ビル商業施設が撤退し加速度的に商業衰退が進み、中心市街地の魅力が薄れ、乗降客の減少が危惧されるところです。駅ビルや空き店舗を市が借り受け、インセンティブを与え、新規創業者等を支援する等、商業を中心とした中心市街地活性化や再開発に向けた考えを伺います。

経済部長 加須駅北口中心市街地の活性化については商工会との連携の中で、商店会や地域の皆様の声もいただきながら産業振興プランに位置付けられた各施策について、しっかり取り組んでまいります。また、かぞマイン跡地活用は、その土地の持つポテンシャルを十分發揮していただけるよう今後も粘り強く東武鉄道と協議を重ねてまいります。



一般質問
二次元コード



魅力ある農業実現に 向けた政策を

あらい しんじ
新井 好一 議員

新井 現在の農業は依然として厳しい状況にあり、消費者だけでなく生産者から見た米の価格設定が重要だと考えます。埼玉一の米どころである加須市として、農業で生計が成り立つことを示すためにも、魅力ある農業の実現に向けた政策が重要となりますが、考えを伺います。

市長 市の具体的な取組として生産基盤の整備、担い手の確保・育成、ブランド化、地産地消の推進、スマート農業の展開等があります。またエコ農業や暑さに強い品種改良、害虫防除など取り組むべき課題は多くあります。さらに農村集落環境の維持向上など農村に関する課題解決も不可欠です。引き続き農業・農村振興に努めてまいります。



一般質問
二次元コード



市の活性化や 市民のために整備を

のなか よしこ
野中 芳子 議員

野中 旧加須市医療診断センターに北埼玉医師会准看護学校の移転要望が出され、協議会が設置されました。駅近の好立地であること、駅前の大型商業施設が撤退したこと、また観光に注力すべきことから、市の活性化拠点や市民の利便性向上のための施設とすることを要望しますが、市の考えを伺います。

市長 民間のニーズを探るサウディング調査では進出計画の提出はなく、その後も事業者とのヒアリングを重ね活用を検討する中で、准看護学校の移転要望がありました。医療従事者や関係人材の確保拠点としても有効であり、議会の2つの会派からも提案いただいていますので、協議を進めてまいります。



一般質問
二次元コード



高齢者の日常生活を 支える体制づくりを

なかいよ けいこ
中條 恵子 議員

中條 高齢者シェアハウス構想とは、単身高齢者や高齢夫婦の個室を備えたシェアハウスで、元気な居住者は施設業務を手伝い、必要時には介護も受けられる仕組みです。地方創生2・0基本構想には、その整備主体を自治体とし、建物を既存の介護施設の転用や一部転用で賄い、改修費を国が交付金で支援するとありますが整備への考えを伺います。

市長 施設入所前の元気なうちからはじめる共同生活という新たな概念・取組です。報道によると、今後3年間で100施設を目標とし、場合によっては介護施設やグループホーム等を併設するとあります。これからのこととして、調査研究してまいります。



一般質問
二次元コード



公立保育士の 残業実態把握アンケート 調査の拒否について

みやしろ しょうた
宮代 翔太 議員

宮代 一般的な残業は無く持ち帰り残業も把握せず残業は適切に管理との答弁だが、実態把握のため企画した任意のアンケートを時間外でも敷地内での配付を不可とした根拠を伺います。

こども局長 政治的行為の制限に抵触する恐れがあるためです。

宮代 市役所内では、陳情を受け一度は全面禁止になりかけた政治活動の政党機関紙勧誘等が容認される一方、政治色の無いアンケートが不可との対応は矛盾があるが市長の見解を伺う。

市長 当該勧誘等は時間外に廊下等の執務室外で行うよう通知しています。保育所は特定の方が利用する公の施設で敷地全体を執務室相当と捉えており施設ごとに合理的に判断しています。



一般質問
二次元コード



こどもの休息と回復を
見守り、安心を増やす場
としての学校に

おいかわ かずこ
及川 和子
議員

及川 不登校児童・生徒が安心して過ごせる居場所の状況と参加人数について伺います。
学校教育部長 3つの教育センター「ピア」の参加者は合わせて38名です。また全不登校児童・生徒253名のうち、保健室に登校するなどして、学校とつながりのある生徒もおりますが、全く出席できなかった児童・生徒は6名おりました。
及川 不登校支援は、こどもの権利を尊重し、心の傷への理解と休息、回復の保障におくことと考えますが、認識を伺います。
教育長 これまで学校復帰を目指しつつ、こどものニーズに応じた、こども自身が選ぶことのできる多様な居場所を増やしており、今後も継続してまいります。



一般質問
二次元コード



聴こえを保障し、健康と
豊かな人生を保障する

まつもと さちこ
松本 幸子
議員

松本 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会は、80歳で30デシベルの聴力を保つ「聴こえ8030運動」を展開しています。認知症や鬱病リスクを高める難聴の進行を予防するため、学習会を開催し、市民へ啓発することを提案しますが、考えを伺います。
福祉部長 「聴こえ」に関心を持ち、理解を深めていただくため、市民の方を対象に講演会を開催し、8030運動の趣旨についても紹介する予定です。
松本 全国では455の自治体が補聴器の助成を実施しています。本市でも補助制度の創設を提案しますが、考えを伺います。
市長 加齢性難聴への対策について、他自治体の状況等も調査し、検討してまいります。



一般質問
二次元コード



「埼玉一の米どころ」
減反から増産へ支援を

さえき よしえ
佐伯 由恵
議員

佐伯 米不足・価格高騰の原因は政府の長年の減反政策であり、今後は「減反から増産へ」と大転換することを表明。ところが埼玉一の米どころである本市では生産者の高齢化や後継者不足、高温障害やイネカメムシの影響が深刻です。市独自の後継者対策「新規就農者育成事業」(研修生に月3万円、受入先に月2万円を3年間補助)の活用もありません。そこで、要件を緩和し、さらに家族農業の支援制度の拡充、またイネカメムシ防除の支援は継続・拡充し、高温耐性品種えみほころの支援を求めます。
市長 当該事業は対象条件の改善拡充を検討するとともに害虫防除や暑さに強いえみほころ等必要な支援を進めてまいります。

本会議を インターネットで中継

本会議をライブ中継と録画中継でご覧になれます。

ぜひ、ご覧ください。

加須市議会 中継 検索



市議会議員と加須市について話ませんか 市民との意見交換会

市議会の報告及び意見交換会を行います。ぜひ、ご参加ください。

■ 民生教育常任委員会委員が出席

日時 令和8年1月18日(日) 午後1時30分～3時30分
会場 騎西文化・学習センターキャスルきさい 多目的室

■ 産業建設常任委員会委員が出席

日時 令和8年3月14日(土) 午後1時30分～3時30分
会場 北川辺文化・学習センターみのり 多目的ホール



対象 市内在住・在勤・在学の方(先着50名)

申込 参加される方の氏名・住所・電話番号を加須市議会事務局宛てに電話またはメールでご連絡ください。詳しくは事務局までお問合せください。

第4回 加須市議会 議場こいのぼりコンサートを開催します

多くの皆様に議場にお越しいただくことにより、議会を身近に感じていただくとともに、音楽活動を行っている市民の皆様に発表の場としていただくため、加須市議会議場こいのぼりコンサートを開催します。皆様お誘い合わせの上、お越しください。

日時 令和8年2月19日(木) 午前9時30分～10時30分
※会場へは午前9時からご入場いただけます。

会場 加須市議会議場(加須市役所4階議場・5階傍聴席)



編集後記

第67号をお読みいただき、ありがとうございます。

議会では9月定例会も無事終了し、今回の市議会日よりをお届けできる運びとなりました。また、市民との意見交換会を通して、多くの市民の皆様と直接お話をする機会をいただきました。皆様の貴重なご意見やご要望をお聞きすることができ、大変有意義な時間となりました。今後も「開かれた議会」を目指し、皆様の声に耳を傾けながら、市政発展に尽力して参ります。

市議会だよりは、市政と市民生活の橋渡しとなるべく、日々の暮らしに密接に関わる様々な問題について、議会でのような議論が交わされたのかお伝えしております。より市政に関心を持っていただければ幸いです。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

(編集副委員長 池田 年美)

市議会だより編集委員会

委員長 山本 仁美 副委員長 池田 年美
委員 内田 昇 栗原 智之 赤坂 和洋
及川 和子 山下 雄希

議会を傍聴しませんか

議会の傍聴は、市政の方針などを知る良い機会です。令和7年第4回定例会は、12月10日までを予定しています。

皆さまの傍聴をお待ちしています。

